

記入例

別紙2

市町村名	〇〇市
組織名	コバトン1丁目自主防災会 (設立年度 平成29 年度)
記入した方のお名前	埼玉 太郎 (役職名等 会長)

提出期限
6月 30日

令和7年度 自主防災組織の活動実態に関する調査

○調査票の回答内容に関するお問い合わせ先：埼玉県 危機管理課 普及啓発担当 048-830-8148

○提出方法等に関するお問い合わせ先：〇〇市町村 〇〇課 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

※(4)、(5)の活動状況については、令和6年度(昨年度)の状況について御回答ください。

(1) あなたの自主防災組織について教えてください。 該当するものに☑([ウ]は数)を記入してください。	【ア】組織の形態について ☒ 自治会を母体とする組織 ☐ 自治会とは別の組織
	【イ】組織の形態について② ☒ 戸建てのみ ☐ 集合住宅(マンション等)のみ ☐ 戸建てと集合住宅の混合
	【ウ】構成員について ① 防災専任役員数(2)人 任期(1)年 (防災専任役員とは、自治会等の役員と兼務していない役員。いない場合は、0としてください。) ② 消防署・消防団など 公的な防災機関のOB(3)人 ③ 女性役員(2)人、男性役員(3)人
	【エ】自主防災組織の規約について ☒ 規約を定めている ☐ 特に定めていない
(2) 防災リーダーについて (防災リーダーとは、役員か否かを問わず、地域で防災の啓発活動を行うほか、防災訓練や研修などを指導できる方) 該当するものに☑を記入してください。	【ア】防災リーダーが ☒ いる 2 人 ☐ いない ※いない場合、【イ】の回答は不要です。
	【イ】防災リーダーが令和6年度中に市町村開催の講座や研修を ☒ 受講している ☐ 受講していない
(3) 防災資機材の整備状況について教えてください。	自主防災組織で整備している資機材について☑を記入してください。 ☒ 消火器 ☒ ヘルメット ☐ トランシーバー ☐ のこぎり又はチェーンソー ☐ 梯子(はしご) ☐ 救命ロープ ☒ 簡易トイレ ☐ 毛布 ☒ ランタン ☐ 担架 ☒ 発電機 ☒ 車いす ☐ リヤカー ☐ ラジオ ☐ 救急医療セット ☐ スタンドパイプ
(4) 令和6年度の活動状況について	防災に係る活動(訓練以外も含める)を ☒ した ☐ しなかった
(4)で「防災活動をした」と回答した場合 → (5)から回答してください。 「防災活動をしていない」と回答した場合 → (6)から回答してください。	
(5) 令和6年度の防災活動について、具体的な活動内容を教えてください。計画ではなく実施回数を記入してください。 (同一日でも複数の項目を行った場合、それぞれの項目に☑をつけてください。)	【ア】市町村主催の訓練や講座などに参加した回数 2 回 ※参加した訓練等に☑し、回数を記入(その他の()内は具体的内容を記入) ☒ 初期消火訓練 1 回 ☒ 避難訓練 1 回 ☐ 救護訓練 回 ☐ 炊き出し訓練 回 ☐ 自主防リーダー養成講座 回 ☐ その他() 回

	【イ】自主的(独自)に訓練や研修などを開催した回数 <u>5</u> 回 ※開催した訓練等に☑し、回数を記入(その他の()内は具体的内容を記入) ☑ 初期消火訓練 <u>1</u> 回 ☑ 避難訓練 <u>1</u> 回 ☐ 救護訓練 _____ 回 ☐ 炊き出し訓練 _____ 回 ☑ 避難所運営訓練(HUG) <u>1</u> 回 ☐ 災害図上訓練(DIG) _____ 回 ☑ 要配慮者の安否確認 <u>1</u> 回 ☐ 防災まち歩き・防災マップの作成 _____ 回 ☐ 防災倉庫等の点検・発電機など防災資機材操作訓練 _____ 回 ☐ 自助の取組の普及啓発 _____ 回 (イツモ防災講座を含む) (↑家具の固定・水や食料の備蓄・災害用伝言ダイヤルの普及など) ☐ 防災の講演会・講座・講習・研修の開催または受講など _____ 回 (内容: _____) ☐ 埼玉県防災学習センターの見学 _____ 回 ☐ 防災知識に関する資料の配布・回覧 _____ 回 ☐ その他(_____) _____ 回
(6) 埼玉県では自助・共助の推進施策として、防災の講師を自主防災組織で実施する研修や訓練に派遣しています。 ※ 講師派遣を希望する場合は市町村の防災担当課にご連絡ください。	【ア】講師派遣を検討している項目に☑をつけてください。 ☑ 災害図上訓練(DIG) ☐ 避難所運営訓練(HUG) ☑ 地区防災計画策定支援 ☐ イツモ防災講座(自助の普及啓発) ☑ 防災まち歩き・防災マップ作成講座 ☐ マイ・タイムライン講座 ☐ 救護・搬送訓練 ☐ その他(_____) 【イ】埼玉県防災学習センターの公式YouTubeチャンネル「そな一えチャンネル」をご存知ですか。 (ネットで「そな一えチャンネル」と入力し検索) ☐ 見たことがある ☐ 知っているが見たことはない ☑ 知らない
(7) 自主防災組織の活動を行う上で、困っていることがあれば記入してください。	

※ 以下、(8)～(12)は、記入者個人としてご記入ください。

回答者年代	☐ 20代	☐ 30代	☐ 40代	☒ 50代	☐ 60代	☐ 70代以上
回答者性別	☐ 男性	☒ 女性	☐ 回答なし			
(8)家具の固定	【ア】あなたのご自宅では、地震に備えて家具転倒防止対策をしていますか。 ※家具が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫などを実施していれば、転倒防止対策をしていることになります。 ☐ 全ての家具の転倒防止対策をしている→【イ】へ ☐ ほとんどの家具の転倒防止対策をしている→【イ】へ ☒ 一部の家具について転倒防止対策をしている→【イ】へ ☐ 家具転倒防止対策をしていない(転倒するような家具を設置していない場合も含む)→【ウ】へ 【イ】(【ア】で「全ての家具の転倒防止対策をしている」「ほとんどの家具の転倒防止対策をしている」「一部の家具について転倒防止対策をしている」を選んだ方にお伺いします。)あなたのご自宅では、どのように家具転倒防止対策をしていますか。(あてはまるものすべて) ☐ L型金具などを使って、家具を固定している ☒ つっぱり棒(ポール式)とストッパーや固定マットの両方を用いて、家具の上部と下部の両方を固定している ☐ つっぱり棒(ポール式)を用いて、家具の上部のみを固定している ☐ ストッパーや固定マットを用いて、家具の下部のみを固定している ☐ 寝ている場所に家具が転倒しないようにするなど、配置を工夫している ☐ その他() 【ウ】(【ア】で「家具転倒防止対策をしていない(転倒するような家具を設置していない場合も含む)」を選んだ方にお伺いします。)家具転倒防止対策をしていない理由を、次の中から選んでください。(あてはまるものすべて) ☐ 必要性を感じていない ☐ どうやったらよいかわからない ☐ 家具や壁にキズをつけたくない ☐ 費用がかかる ☐ 面倒である ☐ 転倒する可能性がある家具を置いていない ☐ その他()					
(9)3日分以上の水・食料の備蓄	【ア】あなたのご自宅では、災害に備えて水・食料を用意していますか。 ☐ 水・食料ともに用意している→【イ】、【ウ】へ ☒ 水のみ用意している→【イ】へ ☐ 食料のみ用意している→【ウ】へ ☐ 水・食料ともに用意していない→【エ】へ 【イ】(【ア】で「水・食料ともに用意している」「水のみ用意している」を選んだ方にお伺いします。)あなたのご自宅では、災害に備えて水を何日分用意していますか。(1人1日あたり3リットルが必要です。) ☐ 1～2日分 ☐ 3～6日分 ☒ 7日分以上 ☐ その他() 【ウ】(【ア】で「水・食料ともに用意している」「食料のみ用意している」を選んだ方にお伺いします。)あなたのご自宅では、災害に備えて食料を何日分用意していますか。 ※非常食(乾パン・アルファ米等)だけでなく、日常的に利用している保存性のよい食料品(レトルト食品・乾麺・缶づめ・フリーズドライ食品等)を多めに『買い置き』した上で定期的に消費し、買い足していれば、災害時の備えとなります。 ☐ 1～2日分 ☐ 3～6日分 ☐ 7日分以上 ☐ その他() 【エ】(【ア】で「水・食料ともに用意していない」を選んだ方にお伺いします。)水・食料を用意していない理由を次の中から選んでください。(あてはまるものすべて) ☐ 必要性を感じていない ☒ 保管する場所がない ☐ 費用がかかる ☐ 面倒である ☐ その他()					

(10)災害用伝言サービスの体験	【ア】あなたは、家族や知人との災害時の連絡について、話し合っていて決めていることがありますか。(あてはまるものすべて) ☒ 連絡手段を決めている→【イ】へ ☐ 集合場所・避難場所を決めている→【ウ】へ ☐ 行先のメモを残す場所・方法を決めている→【ウ】へ ☐ 連絡の取り次ぎ先(遠方の親戚や知人など)を決めている→【ウ】へ ☐ 何も決めていない→【ウ】へ ☐ その他()→【ウ】へ 【イ】(【ア】で「連絡手段を決めている」を選んだ方にお伺いします。) どのような連絡手段を決めていますか。(あてはまるものすべて) ☐ 固定電話・携帯電話 ☒ SNS(LINE、フェイスブック、Xなど) ☐ 電子メール ☐ 災害用伝言サービス(災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板)* ☐ その他() * 災害用伝言サービス:大規模な災害が発生した場合、被災地への電話がつながりにくくなることから、家族や知人との間での安否確認などを行うために通信事業者が提供しています。災害用伝言ダイヤル171(「171」をダイヤルし、安否情報を音声で登録・確認できるサービス)や災害用伝言板(スマートフォン・携帯電話・パソコンから安否情報を文字で登録・確認できるサービス)があります。 【ウ】あなたは、災害時に安否を確認する手段として、「災害用伝言サービス」(災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板)を体験利用したことがありますか。 ☒ 災害用伝言ダイヤル171を体験利用したことがある→【オ】へ ☐ 災害用伝言板を体験利用したことがある→【オ】へ ☐ 災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板の両方を体験利用したことがある→【オ】へ ☐ 体験利用したことがない→【エ】、【オ】へ 【エ】(【ウ】で「体験利用をしたことがない」を選んだ方にお伺いします。) 災害用伝言サービスを体験利用していない理由を次の中から選んでください。(あてはまるものすべて) ☐ 「災害用伝言サービス」自体を知らなかった ☐ 平常時に「災害用伝言サービス」を体験利用できることを知らなかった ☐ 「災害用伝言サービス」を知っていたが、体験利用方法がよくわからなかった ☐ 「災害用伝言サービス」を知っていたが、体験利用する必要性を感じなかった ☐ その他() 【オ】SNS等が災害時の安否確認の手段としても使えることを知っていますか。 ※大規模な災害が発生して被災地への電話がつながりにくくなった場合には、災害用伝言サービスに加えて、インターネット回線を利用したSNSによる既読機能などを活用した安否確認が有効です。 ☒ 知っている ☐ 知らなかった
(11)能美防災そなえ 埼玉県防災学習センターについて	災害への備えを楽しく学べる施設として、県が鴻巣市に設置している「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」を知っていますか。 (ネーミングライツにより、令和6年10月から「能美防災そなえ」の愛称になりました) ☐ 知っている ☒ 知らなかった
(12)自由意見 最後に地震への備えについてご感想・ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。	

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。